



AIYES 通信

横浜スペイン協会会報

発行：横浜スペイン協会 横浜市鶴見区岸谷 2-18-4 年4回発行（1月4月7月11月）

年頭のご挨拶

横浜スペイン協会 会長 下山利明

2020年の新しい年を迎え、皆様方のご多幸を心からお祈り致します。

昨年を振り返りますと、協会の活動は年を追うごとに活性化していると感じます。13のスペイン語クラスに加え文法の特別講座の追加、会員のスペイン旅行報告会である「旅の会」の毎月開催、そして年4回のスペイン・サロンでは文学・美術講座と料理教室の開催、と盛り沢山の企画でした。特に印象的なのは、当協会の設立のきっかけとなった、アンダルシア、ロンダ市でのさくら植樹を通じた市民文化交流の復活です。昨年4月に会員有志4人でロンダ市を訪れ、ロンダ市役所の関係者や30年前にお世話になった方々とお会いし、本年4月の正式訪問の準備の事前打ち合わせをして参りました。2020年は横浜スペイン協会設立30周年の年になります。30年の長きにわたり協会運営を続けることが出来たのは、歴代役員的情熱的なスペインへの想いと強いボランティア精神の賜物です。当協会は個人会員約100名、賛助会員2社の小さな集まりですが、運営は全て会員のボランティアで成り立っています。それ故会員間の交流を盛んにし、絆を深める事が継続的な協会運営の原動力となります。徐々にですが、会員のイベント参加率も上がって来ております。30周年の記念イベントの一つである4月のロンダ市での市民交流訪問には21名もの会員が参加して下さいます。設立30年はとても大きな節目です。皆様と共に沢山の記念イベントにおいて喜びを分かち合い盛大にお祝いしたいと思います。引き続きご支援のほど、よろしくお願い致します。

2020年 横浜スペイン協会 活動計画

赤字は30周年記念関連行事

	協会行事	スペイン語教室	スペイン・サロン	スペインサークル	会報
1月				*旅でスペインを識ろう会	新年号
2月	新春親睦パーティー (2/1)			毎月第2月曜日	
3月	スペイン大使館桜植樹	クラス委員会	文化講座 (3/14)	(8月はお休み)	
4月	ロンダ市訪問 市民文化交流 (4/2,3)	前期講座 開始			春号
5月	定時総会 (5/30)			*スペイン語でボランテ	
6月			特別記念講座 (6/13)	ィア (CLUB 2020)	
7月		クラス委員会		毎月第1火曜日	30周年号
8月				分科会第3火曜日	
9月	私たちのスペイン展 (9/28~10/1)				
10月		後期講座 開始			秋号
11月	30周年記念パーティー (11/21)				
12月					

●スペイン語クラス

<チャルラクラス>

2019 年前期から正式に開講した会話中心のチャルラクラスをご紹介します。

講師は、カメラアクラスと同じビクトル先生、毎月第 4 月曜日 10:30~12:00 です。

En la clase de CHARLA leemos y comentamos artículos de prensa. Una semana antes de cada clase, el profesor selecciona un artículo y lo envía a todos los alumnos por e-mail. Los alumnos lo leen detenidamente y reflexionan sobre su contenido. La clase se divide en dos partes. En la primera parte, los alumnos pueden hacer preguntas para resolver sus dudas (por ejemplo, acerca de las palabras o expresiones del artículo que no entiendan). En la segunda parte, se comenta el contenido del artículo. Cada alumno puede hablar sobre sus ideas o sus experiencias en relación con el tema del artículo. Los alumnos pueden también proponer temas al profesor o informarle acerca de qué cuestiones les gustaría tratar en la clase. La clase se celebra el cuarto lunes de cada mes. ¡Os esperamos!



(講師・ビクトル ペレス)

Charla は 1 年前に発足した新しいクラスです。主にスペインに関するテーマの新聞記事を読みながら Victor 先生のリードで和気藹々のディスカッションを楽しんでいます。取り上げたテーマの一部を紹介します。

- Franco será exhumado(フランコの遺骨を Valle de los caidos から他に移す件)
- El País Vasco después de ETA
- ¿Por qué vienen los turistas a España?
- Gastronomía
- El Papa Francisco visitará Japón

ディスカッションを通じてスペインに関する理解を深め、スペイン語の読解力と表現力が努力次第で飛躍的に向上する素晴らしいクラスです。現在の受講生は 7 名です。是非一度見学に来てください。(宮岡栄一)

<第 16 回スペイン語クラス委員会 (臨時) >

クラス委員会は通常年 2 回 (3 月と 7 月) 開催していますが、9 月にクラス全受講者に対して行ったクラス運営に関するアンケートの結果を踏まえて今後の運営方針を策定したので臨時クラス委員会を 12 月 4 日に開催して報告しました。アンケートには受講者数 111 名の内 68 名から回答があり、以下の 5 つの運営方針が決められました。①毎年 2 月に先生との個別面談を行い、新年度のクラスの進め方などについて確認する ②文法クラスは 4 月からいったん休止する ③新年度から新たに初・中級の会話クラスを開講する (予定) ④新年度から新たに入門クラスを開講する ⑤年 1 回クラス運営に関する受講者の意見を聞いてクラス運営の改善に役立てる。

今年 11 月の協会 30 周年記念パーティーのイベントへの参加については、クラス受講者により子供向けの本をスペイン語で朗読するなどの意見が出ましたが、次回のクラス委員会で話し合うこととなりました。(岩田岳久)

<新初めてのスペイン語・入門クラス開講のお知らせ > ・ 受講者募集!

外部からのお問い合わせやご要望にお応えし 2020 年 4 月『初めてのスペイン語・入門クラス』を新たに開講致します。初めてスペイン語を学ばれる方やもう一度基礎から復習をしたい方向けのクラスです。

- ・ 講座日と時間：第 1, 2, 3 木曜日/毎月（8 月は休講）10:30~12:00
- ・ 講師：中園竜之介先生 ~ 現在入門リリオクラス講師ですが丁寧で親切なその指導力には定評があります。
- ・ 受講料：1,500 円/回
- ・ お問い合わせ・お申し込み先：E-mail アドレス： spanish_class@yokohama-spain.jp

* 新講座 セルバンテスの「模範小説集」を読むクラスを受講して

毎月第 3 金曜日 講師 吉田彩子 清泉女子大学名誉教授

2019 年 10 月より毎月第三金曜日に、セルバンテスの「模範小説集」の特別講座に参加させて頂いています。私は、講師の吉田彩子先生の「ドン・キホーテ」の講座で初めて「模範小説集」という名前を知りました。「模範小説集」は全 12 篇からなる短編集で、この講座では 2 回で 1 篇ずつ、全 6 回で 3 篇を講義して頂きます。既に 2 回受講させて頂きましたが、先生が選んでくださった箇所の原文を、文法の解説を加えながら訳して頂き、その都度、背景の説明や楽しいエピソードが加わり、2 時間があっという間に過ぎてしまいます。また、事前に配布して頂く先生お手製の「読解の手引き」を片手に原文を予習する時間も、学生時代が思い出され、楽しいひと時です。前回取り上げて頂いた「嫉妬深いエストレマドゥーラ男」は、「嫉妬深い男が屋敷に妻を閉じ込めた。その妻に興味を持った別の男があの手この手で屋敷に忍び込むことに成功。そして・・・」というハラハラ、ドキドキのストーリー。あと 2 つのお話、「ビードロ学士」と「美しいヒターノの娘」を読むのが今から楽しみです。(平田弘子)

●スペイン・サロン

「戦争を描く、ゴヤからピカソへ：《1808 年 5 月 3 日》と《ゲルニカ》をとり結ぶものとは？」

早稲田大学名誉教授 大高保二郎 2019. 11. 9 於かながわ県民センター

大高先生の著作を数冊読んでいたので今回の講演を楽しみにしていました。ゴヤとピカソがそれぞれ「独立戦争」、「内戦」という悲惨な時代を経験したことを通して特にゴヤの《1808 年 5 月 3 日》、ピカソの《ゲルニカ》が描かれた背景について、分かり易く説得力のある解説をして頂いたお陰で最後まで興味深く拝聴しました。どちらの絵にも戦争の不条理や戦争に対する抗議が込められている訳ですが、その奥にある「磔刑のキリスト」というモチーフ（すなわちキリスト教最大の悲劇）を共通項として二人は繋がっていること、また《ゲルニカ》には「ピエタ」や「闘牛」といったテーマも融合されていること等が印象に残りました。先生としましても、ゴヤとピカソについて同時に 1 回 2 時間で全てを語り尽くすことは不可能であり、話し足りなさを感じておられるだろうと勝手に想像しています。ゴヤの作品の多面性に与えた影響、ピカソのキュビズムへ至る心理



の変遷、スペインでの堀田善衛のエピソード等次回以降への期待が膨らむ一方です。(今井修一)

※10 月 12 日に予定していた大高先生の講演「ゴヤ ロココ美と戦慄の近代：雅宴から戦争へ」は台風 19 号による特別警報の為中止となり、今回はその内容を盛り込んだの講演となりました。

「横浜スペイン協会・美食倶楽部」

2019. 11. 23 於咲くらる一む

スペイン好きならば一度は訪れたいところ、バスク地方美食の街サンセバスチャン。この地方に100年以上前から存在しているという「美食倶楽部」*sociedad gastronómica*をご存知でしょうか？お料理を作り皆で食す、会員制のコミュニティーで食の秘密結社と呼ばれているとか？今年は「横浜スペイン協会・美食倶楽部」と銘打って、そのまねごとをしてみました。本場では男性のみ会員となれるものらしいのですが、横スぺの会員は、男勝りの女性12名とおしとやかな男性7名(?)の面々が、ワイワイガヤガヤと集まりました。毎年お世話になっている丸山久美先生のご指導のもと、手作りチョリソに挑戦。他にも本場バルのようにピンチョスも作り、皆で¡salud!。会場となった「咲くらる一む」は、会長の実家で初代会長下山貞明氏の家をレンタルスペースとしているところです。20名分のお皿やグラスは何のために買い揃えていたのでしょうか？まさか30年後に会員の皆が集まり、飲んだり食べたりの楽しい時間を過ごせるように、と予想して用意してくれたのかしら？などと思いを巡らせました。新しい試みは勇気が要る事ですが、失敗は次への糧に、とチャレンジをした理事の皆さん、美味しくって楽しかったので大成功です！来年の「美食倶楽部」も楽しみにしています。(下山綾子)



●スペインサークル

《旅でスペインを識ろう会》

* 「ガリシア南部の旅」

2019. 10. 21 於かながわ県民センター

胡桃澤ご夫妻からガリシア南部を巡るお話を伺いました。毎年スペインを旅されているお二人は、今回もいつものようにレンタカーで、約3週間旅をされました。「スペインの美しい村」に毎年のように選ばれている La Alberca という小さな村、眺望の素晴らしい村、村おこしのために家々の壁に村民の肖像画が掲げられている村等、山間部をこまめに廻る車ならではの旅は、うらやましい限りでした。温泉の町 Ourense やポルトガルとの国境の町 Tui、リアス海岸沿いの美しい町々での安くておいしいピンチョスやタパス、豪華なパレードからの素晴らしい海の眺望、すぐにでも行ってみたいくなる場所ばかりでした。また世界遺産でもある Las Médulas というローマ時代の金鉱山の跡地は、水力を使って山を崩して採鉱したため、切り立った崖の特異な景観が残っている、というお話もありました。主にお話されたのはご主人ですが、ときどき奥様からも解説があり、ご夫妻で仲良く旅されている様子が存分に伺えました。写真も見応えがあり、楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。(古賀恵子)



* 「スペイン巡礼とワインの旅 15 日間」に参加して

2019. 11. 18 於かながわ県民センター

佐竹信一さんと新沼順子さんがお仲間 6 人でされた旅「スペイン巡礼とワインの旅 15 日間」のお話しを伺いました。サンティアゴ巡礼はサリアからサンティアゴ・デ・コンポステーラまでの 5 日間を毎日精力的に歩かれ、いろいろな国の方々と国際交流、そして美味しいお料理を堪能されていらっしゃる様子を佐竹さんの軽妙なトークで楽しませていただきました。ご本人も当時の事が甦って来たのでしょうか。笑顔いっぱいのお顔が印象的でした。サンティアゴの



オブラドイロ広場からのカテドラルの正面の覆いが何年かぶりに外され、久しぶりに栄光の門と全体の姿を拝見し、とても嬉しく思い、近いうちに行きたいなと刺激を頂きました。現在はカテドラルの中が改装中ですね。その後、ポルトガルのポルトのボデガやアズレージョの美しい駅舎やファドに足を運ばれ、ポルトからポーンとバルセロナに移動されモンセラット、オペラやフラメンコも楽しまれたのでしたね。そして新沼さんのアンドラ公国のアンドラ・ラ・ベリャの感想を伺い、帰路モスクワの街の散策の話も伺いました。巡礼とそれぞれの夢を叶え、そして最後まで旅を堪能される気力体力が充実されている 6 人の方々に拍手を送ります！（大竹智栄子）

● 対外交流

* 「日本・スペイン交流懇親会」主催 名古屋スペイン協会/在名古屋スペイン国名誉領事館

2019. 12. 11 於名古屋名鉄グランドホテル

名古屋で行われた日本・スペイン交流懇親会に下山会長と出席して参りました。名古屋スペイン協会は当協会が数年前から交流を深めている協会です。会場は、スペイン大使館からアルバロ・ガルシア・モレノ領事担当書記官、山本亜土在名古屋スペイン国名誉領事をはじめ、近隣在住の名士の方々、若者やスペイン人で溢れていました。名古屋スペイン協会の小島浩資副会長は、「両国の絆を深めていきたい。」と語られ、アルバロ領事担当書記官は、「両国はすでに親密な関係にある。お互いがシンパシーをもって関係を続けていくことが大切である。」と語られました。乾杯に次ぐ食事のあい間に、神戸日西協会、在福岡スペイン国名誉領事館、横浜スペイン協会が紹介され、下山会長は来年 30 周年を迎える当協会についてのお話を致しました。美味しいスペインワインやお料理を頂きながら名古屋の皆様と楽しいひとときを共有しました。去年の来日スペイン人は約 12 万人で過去最高を記録したそうです。着実な民間外交を続けている名古屋に、ますます多くの来訪者が集まるものと期待されます。（服部君江）



横浜スペイン協会 設立 30 周年記念事業

* ロンダ市友好親善ミッション（ロンダプロジェクト）第 3 回ミーティング

ロンダプロジェクトは、12 月 4 日に第 3 回ミーティングを開催し、16 名の方が参加されました。

ミーティングではロンダ市のマリアパス市長より本年4月2日と3日に予定しているロンダ市でのさくらの植樹と市民文化交流の実施を歓迎する旨の回答があったことを報告しました。ただ残念ながら日本からさくらの苗木をスペインに持ち込むことはEUの規制により出来ないことが事実となったことから、1998年の第2回植樹のようにスペインに残る日本のさくらの枝を現地のさくらんぼの木に接ぎ木するか、または2015年以降の植樹のようにスペインのさくらを植樹するかを選択することになりました。また、市民文化交流として行う予定のおとな向けの書道、華道、茶道のデモンストレーションと子供向けの折り紙、コーラス、クイズ、吹き矢の進め方などについては、各チームのリーダーから具体的な説明がありました。ついては、これからロンダ市との間で具体的な実施場所や時間、参加人数などについての話し合いに入りたいと思います。

(ロンダプロジェクト担当 岩田岳久)

●シネマサロン

「戦争のさなかで」

監督 Alejandro Amenábal 2019年、スペイン1936年、サラマンカ。主人公は思想家で小説家、サラマンカ大学総長、ミゲル・デ・ウナムーノ。



1931年に樹立された共和国政府に反対する軍部との対立が激しくなり、彼はその混乱の早期終結を望んで反乱軍を支持し、共和国政府を批判したために大学総長の職を解かれる。モロッコで反乱軍を強化していたフランコ将軍がスペイン国内に戻り、内戦は泥沼化。やがて友人たちがフランコ派に逮捕されてしまう。ガルシア・ロルカの逮捕やドイツ軍の支援なども公になり、彼は発言を控えるようになる。それは家族の生活を守るためでもあった。優勢となったフランコ派から再び総長に戻されたが、軍事会議ではバスクやカタルーニャの人に差別発言する軍人の演説に反発し、彼は「スペインは一つ。そこに住む人はみなスペイン人。自分はバスク出身だがスペイン語でスペイン人にスペインのことを教えている。」と。激しい非難を受けたが、彼の文学を好んでいたフランコ将軍の妻に助けられその場を脱出。老いた身に疲れが募ったが気分は爽快。だが総長の地位は再び奪われ、字幕ではその2年後に心臓発作で亡くなったと。レンガ色の古都に軍用トラックや軍人、武器は似合わないが、そのような時代を生きぬいた人たちがいたのだ。(松本益代)

●スペイン文学余話 (8)

ディエゴ・クレメンシンによる『ドン・キホーテ』の注釈本

ムルシア出身の学者で自由主義の政治家でもあったディエゴ・クレメンシン (1765-1834) の生涯は波瀾万丈で、1808年のフランス軍の侵略に際しては民衆に蜂起を呼びかけた。グアダラマ山中のフェンフリーアの別荘に潜伏中に無聊を慰めるために『ドン・キホーテ』の注釈に着手したとされる。1810年摂政会議が設置されるとカディスに招かれ12年からはカディス憲法下のムルシアの代議員となるが、14年フェルナンド7世の絶対君主制復活で失職し隠棲。リエゴ大佐のクーデターによる「自由の3年間」に復職して国会議長も務めたが、フェルナンド7世が復帰するとマドリッドから追放され、1823年から27年までフェンフリーアに蟄居した。33年フェルナンド7世が世を去ると国立図書館の館長に任命され、翌34年には「貴族院議員」の称号を授かるが、同年大流行したコレラで死去した。彼の最大の功績は、独立戦争の時期に着手し死の直前に完成した5,500項目を超える『ドン・キホーテ』の詳細な注釈である。ページごとに脚注がある『ドン・キ

ホーテ』全6巻は1833年から1839年にかけて出版された。『ドン・キホーテ』の注釈には、古くはジョン・ボウルの6巻本やファン・アントニオ・ペリィセルによる校閲本があるが、後世に与えた影響はクレメンシンが最も大きい。その特徴は批評と解説の両面にわたる点で、後者については歴史アカデミーの会員でもあった彼の学識が遺憾なく発揮され、資料的価値は今も失われていない。例えば、「gitano」には3頁にわたる注があり、カルロス1世以降の国王のロマに対する政策が記されている。批評についても影響は大きく、散文に比べセルバンテスの詩作品の評価が低いのもクレメンシンに端を発する。また、彼は文法的な観点からもセルバンテスを批判する。「Muy a propósito de los yangüeses おおいにヤングアスの男たちの目的にかなった」(前篇第15章)は、「Muy al propósito de」または「Muy a propósito para」とすべきであると指摘する。「a propósito de」には「～に関しては」という意味しかないから、彼による修正ではじめて理解が可能になる。その文学的批評全般は新古典主義を反映しており、限界を指摘する声もあるが、ロマン主義以降のセルバンテスの神格化に慣れた現代の読者には新鮮である。いずれにせよ、『ドン・キホーテ』の良き読者は、注釈の良き読み手でなければならない。(吉田彩子)

●会員の活動報告

日本サルスエラ協会 2020年3月スペイン遠征公演記念「聖パロマの夜祭」【お江戸版】

2019.12.1 於：スペインクラブ銀座

桜田ゆみさん率いる日本サルスエラ協会はこの3月にスペイン公演を予定しています。スペイン19世紀後半のマドリッド下町を舞台とした人気のサルスエラの演目「パロマの前夜祭」の舞台をそっくり江戸の下町に移したもので、主人公の「風利吉」と「江戸小町のお佐奈」が、下町の住人や新撰組の近藤隊長を巻き込んで起こすコミカルな舞台です。今回のプレ公演では歌がスペイン語、台詞は日本語で演じられましたが3月スペイン公演では勿論歌も、台詞もすべてスペイン語で、スペインの観劇者には、江戸を舞台としたエキゾチックな雰囲気の中で、自分たちの慣れ親しんだ{パロマ・・・}の賑やかでコミカルな物語が展開してゆくのに自然と溶け込んでくれるものと期待されます。プレ公演でも出演者の皆さんが観せて下さった舞台、何と云っても皆さんが楽しそうに演じて居られていた姿に観客は、知らず知らずのうちに引き込まれて、笑いが溢れてくる愉快的な公演でした。日本文化の紹介も兼ねている「お江戸版聖パロマの夜祭」はスペインでも評判を呼ぶことでしょう。(福長昭代)



スペイン遠征公演の日程は以下の通りと伺っております。

- 3月14日 グラナダ大学 りゅうの目のなみだ
- 3月16日 サラマンカ大学 りゅうの目のなみだ (日本週間開会式後の公演)
- 3月17日 ファン・デル・エンシーナ劇場(マドリッド) 江戸版聖パロマの夜祭
- 3月19日 アントニオ・マチャード劇場(マドリッド) Zarzuela concierto de gala



*** 協会からのお知らせ ***

※重要なお知らせ 《会費振込のお願い》

2020 年度会費を、下記要領にてお振込みのほどよろしくお願ひいたします。

記

1. 年会費 会員 3,000 円 賛助会員 10,000 円

2. 振込先 みずほ銀行 鶴見支店 (店番号 362)

普通預金 口座番号 2518340

口座名義 横浜スペイン協会

3. 振込期限 2020 年 3 月 31 日 (2020 年 1 月 6 日より振込受付開始)

《注意事項》-誠に恐縮ですが、振込手数料は会員様にてご負担お願ひ致します。

「新春親睦パーティー」の開催日時と場所のお知らせ

2020 年は横浜スペイン協会発足 30 周年を迎え、様々な行事を予定しています。初めの行事は「新年親睦パーティー」を開催いたします。スペインの音楽や踊りを皆さんと一緒に楽しんで行こうと考えております。恒例の吹き矢ゲームも皆さんが楽しんでいただけるよう準備をしています。また前回より横浜市内の大学に留学しているスペイン語圏の留学生を招き、会員の皆様と交流を持つ機会を持ちました。ぜひ会員の皆様の参加をお待ちしています。

参加ご希望の方は今号同封のチラシをご覧ください。

日時：2 月 1 日 (土) 12:30~14:45

会場：KKR ポートヒル (港の見える丘公園隣)

*お申込み&お問い合わせ：Tel：090-6655-3946/taketake-27@song.ocn.ne.jp(武菱)

<<賛助会員各社の会員サービス内容>>

◆会員証の提示で、下記賛助会員企業より表記のサービスが受けられます。

賛助会員	住所	☎番号	会員サービス
カサ・デ・フジモリ関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サングリア 1 杯無料
Bar Español	横浜市中区相生町2-43-2	045-651-1074	サングリア 1 杯無料

《編集後記》スペインの年越しの風習に、12 粒のぶどうを食べるといふものがあるそうです。マドリードのプエルタ・デル・ソルにある時計台の鐘が 12 回鳴るのをテレビの生中継で観ながら、家族揃ってぶどうを食べている動画を見つけました。なんだか楽しそうに皆でキャッキヤしています。新しい年の幸運を祈って、ということでしょうか。日本で言えば、年越し蕎麦のようなものですね。あるいは大量廃棄で社会問題になりつつある恵方巻にも似ているかな？ちなみに筆者は蕎麦粉アレルギーです。(A.S)

編集長/下山綾子 編集委員/ 岩田岳久 白井慎一 古賀恵子 下山利明 武菱邦夫 服部君江 平本紀子 福長昭代 松村清

投稿寄稿宛先 E-mail 全般：info@yokohama-spain.jp

スペイン語教室：spanish_class@yokohama-spain.jp

スペイン・サロン：spain_salon@yokohama-spain.jp

ホームページ：http://www.yokohama-spain.jp

横浜スペイン協会

次回の原稿締切は

3 月 15 日(日)です